

医療・福祉

大卒初任給 下から3位

厚労省 12大産業を調査

厚生労働省が11月28

日に発表した2018

年賃金構造基本統計調

査によると、医療・福

祉業の初任給が12大産

業中、大卒が下から3

番目、高卒が2番目に

低いことが分かった。

調査は、5人以上の

常用労働者を雇用する

7万8203事業所を

対象に実施。うち新卒

者を採用した1万51

55事業所の6月分の

賃金状況をまとめた。

「医療・福祉」の初任

給は大卒20万1500

円(前年比3400円

減)、高専・短大卒18万

3700円(700円

増)、高卒15万9200

円(1000円増)。男子

は大卒20万5000円

(2100円増)、高専・

短大卒19万1000円

(6000円増)、高卒16

万1000円(6300

円減)。女子は大卒20万

2000円(5700円

減)、高専・短大卒18万

2500円(700円

増)、高卒15万8900

円(1700円増)。

全産業平均と比較す

ると、大卒が5200

円、高卒が5900円

低く、高専・短大卒が

2300円高い。

初任給が最も高い産

業は、男子の大卒が

「学術研究・専門技術

サービス」、高専・短

大卒が「情報通信」、高卒が「建設」で、女子は大卒が「学術研究・専門技術サービス」、高専・短大卒が「建設業」、高卒が「情報通信」だった。(井口拓治)